

## 事業所職員向け児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 5月 27日

公表: 令和 6年 6月 8日

事業所名 運動学習支援教室ふれんず秋田南教室

対象者 7名 回収率 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	静養室と活動室を分け、指導員の目が届く死角のないスペースで活動を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0	国の配置基準を満たしており、経験と専門性を備えたスタッフを配置しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	段差のある箇所もありますが、角にはクッションシートを貼って怪我の防止に努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	毎日の清掃や消毒、整理整頓を行い、清潔な環境を保てるよう努めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	職員間で情報共有を図り、日々の開所後と閉所前以外にも、活動前や事業の後もミーティングを実施しています。	シフトの都合で当日のミーティングに参加していない職員にも情報共有を徹底していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	前年度の評価集計は、ホームページ内でどなたでも閲覧できる状態で公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		現在ご利用の保護者様と従業者のみの評価となっておりますが、今後必要に応じて第三者評価について検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	社内研修やオンラインセミナーだけでなく、外部の研修会などにも積極的に参加して支援の質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	面談等を通して、利用者と保護者の方のニーズを取り入れたアセスメントシート、個別支援計画、専門的支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	定期的にガイドラインの読み合わせを行い、適切で具体的な計画を作成するよう努めています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	個別支援計画の内容を職員間で共有し、支援しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	職員で話し合い、運動、学習、遊びの側面からお子様の状況に合わせた活動プログラムの作成をしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	発達状況、適性を考慮しながら、保護者の方のニーズにも応えられるよう支援計画を立てています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	成長療育支援システムに日々の様子、活動内容、写真等を記録し、支援の検証、改善につなげています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	管理者、児童発達支援管理責任者、担当職員など、適任者を選出しています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	状況に応じて、必要と判断した場合には関係機関との連携を取っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在、医療的ケアの必要なお子様は通所していませんが、必要になった際には各機関と連携して安心してご利用いただける体制を整えます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	適宜、情報共有を行い、相互理解に努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	各センター主催の研修会に参加し、支援の質の向上に努めています。	研修報告書を通して、職員間で情報共有していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1	地域イベントなどに参加した際には、障害のない子どもたちと交流、活動する機会があります。	現在、事業所同士での交流実績はありませんが、必要に応じて機会を設けたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	0	研修や勉強会の通知があれば、参加するよう努めています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時に直接お話す以外にも、成長療育支援システムを通して日々の様子、活動内容、写真を共有できるようにしています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	6	1	ペアレントトレーニング研修を受けた職員が在籍しておりますので、体制を整えています。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	丁寧な説明を心掛け、内容を確認していただいた上で、保護者の方に同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	定期的に現状確認のアンケートを実施し、それ以外にもお問い合わせがあった際には、ご相談に応じて助言と支援を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		今後必要に応じて開催し、保護者同士の連携支援を行っていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	各対応ごとにマニュアルを作成しており、書式に沿って記録、報告をしています。 また、必要に応じて電話や面談にて迅速かつ適切な対応に努めています。	当事者でなかった職員にも、後日報告書を通して情報の共有をしていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	毎月「ふれんず通信」という紙媒体を通して、活動の様子や行事予定を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	個人情報は施錠できるキャビネットに保管し、鍵は管理者だけが持つようになっています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	教室でイベントを開催する際には、事前に周辺のお店や関係機関にチラシを配布して地域全体に告知しています。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	年間計画に沿って、定期的にマニュアルの読み合わせをする機会を設け、必要に応じて研修会や訓練も行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年間計画に沿って定期的に避難訓練を行い、防災センターや地域の消防署へ出向いての訓練も行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	契約時のアセスメントで確認し職員間で情報の共有をしています。活動前などにも再確認するよう努めています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	専用ファイルを作成し、情報共有と再発防止に努めています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	年間計画に沿って、定期的に社内研修や委員会を開催し、外部の研修会にも積極的に参加する体制を心掛けています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。